

SC-IB NEWSLETTER

2025/11/28 発行

I 12・1 月の茨城県連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月日	名称	主催	内容
12 月 7 日	IB グランプリ 県大会	イベント 国際委員会	スカウト達自身で作った無動力の手作り車が坂道の規定コースを駆け降り、速さを競います。県大会は各地区の代表者にてレースを行い、県内のデザイン賞応募作品も一堂に会します。
12 月 25 日	第 6 地区開設 定型外訓練	第 6 地区	「楽しい活動」についての研修です。

II 各種委員会よりのお知らせ

1. 指導者養成委員会（郡司委員長）

12 月 25 日に開催されます第 6 地区開催定型外訓練のご案内は、地区から案内が出ましたら各団にお知らせいたします。

また、次年度にスカウトコース及び課程別研修を予定されている方、茨城県は秋に開催いたします。

春に受講を予定されている方がいらっしゃいましたら、地区のコミッショナーにご相談いただき県外の研修に参加をお願いいたします。

2. イベント国際委員会（園部委員長）

1) IB グランプリ 2025 県大会

既にお知らせしてありますように IB グランプリ 2025 県大会を開催いたします。

- ・日時：12 月 7 日（日）
10:15 開会式
B クラス 09:30 受付、10:45 予選&決勝、12:00 表彰式
A クラス 11:30 受付、12:30 予選&決勝、表彰式
C クラス 12:30 受付、13:30 予選&決勝、15:30 表彰式
15:45 閉会式
- ・会場：ひたちなか市松戸体育館

各地区の大会も進んでいることと思います。レースとデザイン賞のエントリーをお待ちしています。

2) ベンチャーラリー2025 情報

第2回の実行委員会を終え、実施案が決定しました。

- ・実施内容：スキーと雪中キャンプ

現在スキー場の選定と日程を検討中です。

これから実現に向けて実行委員会で詰めていきます。

詳細が決まりましたら県内のベンチャースカウト諸君に案内します、多数の参加をお願いします。

3) スカウトフォーラム参加報告

11月1日(土)～3日(月)静岡県三島市立 箱根の里にて第25回スカウトフォーラム・アフターフォーラムアフターが開催されました。

茨城県連盟からは、日立第5団の長谷川千咲さんが代表で出席しました。

長谷川さんは昨年度の全国フォーラムにも参加し、採決されたテーマ「きっかけをつくれる VS が先陣を切る!! 身のまわりの人を巻き込み、“地域をよりよくする意識を0から1へ”」について、その後取り組んだものや今後取り組んでいく内容について発表してきました。



3. 地域連携・広報委員会（富田委員長）

1) 令和7年度「撮っておきの写真コンテスト&茨城県連盟カレンダープロジェクト」

多数の写真のご応募有難うございました。10/4の理事会での投票/選考の結果、

- ・最優秀賞「ぴかぴかのナス！これに決めた！」(水戸5団 関原仁美さん)
- ・最優秀賞「楽しい営火、キャンボリーの夜」(水戸1団 矢作博史さん)
- ・優秀賞「新しい友達といっぱい遊ぶよ～！」(水戸8団 小林明良さん)
- ・優秀賞「夏の冒険！はじめてのカヌー体験」(水戸8団 伊祁(いき)徹也さん)
- ・優秀賞「やったぞ！1番！！」(水戸5団 加藤裕美さん)

と決定致しました。

上記入選の写真及び票を集めた皆様の写真を利用させて戴き、現在令和8年度のカレンダーを制作中です。まもなく、カレンダーの見本と注文受付をご案内できると思いますので、今暫くお待ちください。

また、ご応募戴いた写真の作品は県連ホームページに掲載できないか検討中です。



最優秀賞「ぴかぴかのナス! これに決めた!」



最優秀賞「楽しい营火、キャンボリーの夜」



優秀賞「新しい友達といっぱい遊ぶよ〜!」



優秀賞「夏の冒険! はじめてのカヌー体験」



優秀賞「やったぞ! 1 番!!」

2) スカウトの日 活動報告

毎年9月の敬老の日(第3月曜日)を中心に、地域社会への奉仕活動をはじめとする様々なスカウト活動を全国一斉に展開している「スカウトの日」。今年度も「ちかいとおきて」の実践の一つとして、環境保全・環境美化、社会奉仕、地域連携活動、国際貢献、災害復興支援、敬老の日のプログラム等、様々な活動が展開されました。

茨城県内では、6つの地区26の団で、スカウト、指導者、そしてスカウトのご家族や関係者、総計749名の皆さんがスカウトの日に関する様々な活動に取り組みました。(なお、活動の日程が9〜10月のタイミングに合わず、集計に含まれていない団や隊もある事をご了解願います。)

集計したデータや各団・各隊の活動の写真は2026年1月発行予定のScouting 茨城 vol.56に掲載予定ですが、本誌にはその一部を紹介したいと思います。



日立第8団VS隊 スカウトの日の活動(川尻海水浴場にて、2025年9月14日)
コメント: SDG s センズを行い、ゴミ拾いも楽しんで行いました。



9/13日立5団カブ隊 緑の羽幕会



北茨城第一団 カブ隊 スカウトの日の活動(9月27日 於: 中郷上桜井地区)
「通学している小学校の近くの道路のゴミ拾いをしました。」



9月28日 結城1



9月21日
ユニクロ難民支援衣類回収
水戸第5団(ビーバー隊・ボーイ隊・ベンチャー隊)
※カブ隊は別日に衣類回収で参加
みなさんからお預かりした衣類を整理し
翌日の9月22日にユニクロ水戸姫子店にお届けしました。
<https://youtu.be/fo-EJJcsdqo?si=4kH5EA45CP18bxhd>
▲報告&感謝のメッセージ動画▲



p

2) 高萩スカウトフィールド活用事業(親子デイキャンプ)

今年度の親子デイキャンプは11月22日(土)に高萩スカウトフィールドにて開催されました(主催: 高萩スカウトフィールド活用事業実行委員会、共催: 高萩市教育委員会&ボーイスカウト日本連盟)。

当初10組28名のご家族の参加申し込みを戴いていましたが、インフルエンザの流行が早く、10名が欠席、7組18名のご参加となりましたが、それでも秋晴れのもと、スカウトフィールドは野外活動を楽しむ皆さんの笑顔と活気が満ち溢れていました。

県内各地区のローバースカウト、隊指導者、団委員各位からのスタッフ奉仕協力も多数戴き、プログラムをスムーズかつ生きいきと展開する事ができました。本当に有難うございました。





Ⅲ 各地区・各団の活動紹介

1. 守谷市商工祭への参加活動（守谷第1団 ローバー隊 渡辺俊夫）

9月27日（土）、28日（日）に守谷駅にて開催された守谷市商工祭に守谷第1団として、参加しました。

スーパーボールすくいをイベントとして行い、400名以上のお子さんがスーパーボールすくいゲームに参加・挑戦して、楽しんでもらうことができました。

また、ローバースカウト活動として、ビーバー隊からローバー隊活動の紹介、県キャンポリー、日本ジャンポリー、世界ジャンポリーの参加活動を動画映像にまとめて自動配信を行ったり、新規メンバー募集のチラシ/アンケートを作成して、ゲーム参加者の保護者に配布を行うなど、育成者/指導者/団委員も参加して頂き、守谷第1団の活動紹介/募集の周知を実施しました。

28日には、ビーバー/カブスカウトが積極的に能登半島災害募金の活動や、ベンチャー隊は8月に実施しました大島キャンプ活動の紹介を行い、一般の方にもボーイスカウト活動をより知って頂く発表や社会貢献活動も実施しました。

今後も守谷市地域社会や社会貢献に繋がる活動を推進していきます。



スーパーボールすくい募集活動



能登半島災害募金活動



ベンチャー隊大島キャンプ発表

2. 守谷市 MIFA への参加活動について（守谷第 1 団 ローバー隊 渡辺俊夫）

10 月 19 日（日）にブランチ守谷にて開催された MIFA（守谷市国際交流協会）に守谷第 1 団として、参加しました。

歓迎式の国旗セレモニーでは、守谷第 1 団/MIFA 関係者を含めて、ベンチャースカウトによる国旗掲揚を行い、国旗セレモニー終了後は、各隊スカウト、指導者/育成者も参加して、27 カ国の国旗を掲げ、30 名以上の JICA 留学生をお迎えしました。

自国の国旗のもとでは、スカウトと一緒に記念写真をとるなど、和やかな雰囲気、歓迎セレモニーを実施することができました。

MIFA では、茶会、大正琴/習字の体験コーナーや、ステージでは守谷高校吹奏学部による演奏、各種イベントも開催され、スカウトも楽しく参加活動を行っていました。特にビーバー/カブスカウトは、留学生と交流することを参加課題として、積極的に留学生と会話をし、交流を進めていました。

また、MIFA に参加していた教師の方は、アメリカでボーイスカウト活動を行っていたイーグルスカウトであり、大統領にお会いした体験話などで、守谷第 1 団メンバーと交流を深めることもできました。

ボーイスカウト活動は世界各国と連携している活動であり、MIFA を通して、世界のスカウトと交流できる場にもなりました。

MIFA は、毎年、10 月予定で開催されますので、国際交流や国際支援活動にご興味のあるスカウト/指導者の方は、参加希望のご連絡（守谷第 1 団：bsmoriya1dan@outlook.jp）をお待ちしております。



ベンチャースカウトによる国旗掲揚



歓迎式での各国国旗持ち対応



27 カ国: JICA 留学生のお迎え対応



MIFA: 体験ブースでの参加活動

3. JOTA-JOTI 2025 実施報告（つくば第1団 柏原一仁）

つくば1団アマチュア無線クラブ(JN1ZLK)は、10/18-19 に開催された Jamboree On The Air(JOTA) / Jamboree On The Internet(JOTI)に今年も参加しました。



アマチュア無線、インターネットを使って世界中のスカウトやボーイスカウト関係者と交流するイベントで、つくば1団 AMC からは今年で25年連続参加となっています。

アマチュア無線は国家資格を取得して初めて使用することができますが、体験運用といって有資格者が一緒に運用すれば、無資格者も体験ができるように制度ができ、今年もビーバーからローバーまで幅広くスカウトがアマチュア無線を体験しました。

日本国内はもちろん、アジアをはじめ北南米、オセアニアとも交信ができ、多くの交流を深めることができました。

またインターネットを使った交流では、ほかの地域のスカウトとビデオ通話でお互いに質問をしてみたりと、交流の時間をもつことができました。

4 地区内の友団からの参加もあり、今年も2日間ともおおいに盛り上がりました。また来年、県内からの参加を、つくばでお待ちしております。



Ⅳ 連載コラム ～信仰奨励専門委員会より～



信仰(心)について

ボーイスカウト部門に進級すると、信仰奨励に関する課目に取り組むことになります。

初級から1級ではスカウトOWN・サービスへの参加、菊章では信仰奨励章の取得が求められています。

この信仰奨励(章)に取り組む目的は、スカウトに信仰心を持つことを促すことにあります。ここでいう「信仰」とは、「目に見えない創造主によって作られた、大自然の脅威に対する畏怖の念を持ち、そこから与えられる恩恵によって人は生かされていることを信じる」ことです。

古来、人々は、狩猟や農耕を行い際に、獲物が獲れることや作物が豊富に実ることを祈り、また、感謝の気持ちを捧げました。初めは、祈りや感謝を捧げた相手は、明確に具現化はされておらず、それは太陽や大地、山や川、

森や木々などの、いわゆる自然崇拝であったのだと思います。

私たちは決して一人では生きていけません。自然の恩恵や、地域や家族といった社会の中で生かされている存在であることを十分に認識することが大切です。毎日ご飯が食べられること、学校に行けること、スカウト活動ができること、これは決して当たり前の事ではありません。これを当たり前のようにできることに対して、自分の周りのもの全てに感謝の気持ちを持ち、自分自身も周りの自然や社会に対して役立つ人間であらうとすることが、信仰の第一歩となるのではないのでしょうか。

おきての8、「スカウトは感謝の心をもつ」において、感謝をする対象として、第一に自然と社会の恵みを掲げ、お礼の心で、自然をいつくしみ、社会に奉仕します、とあります。

(結城第1団 斉藤伸明 信仰奨励委員)

